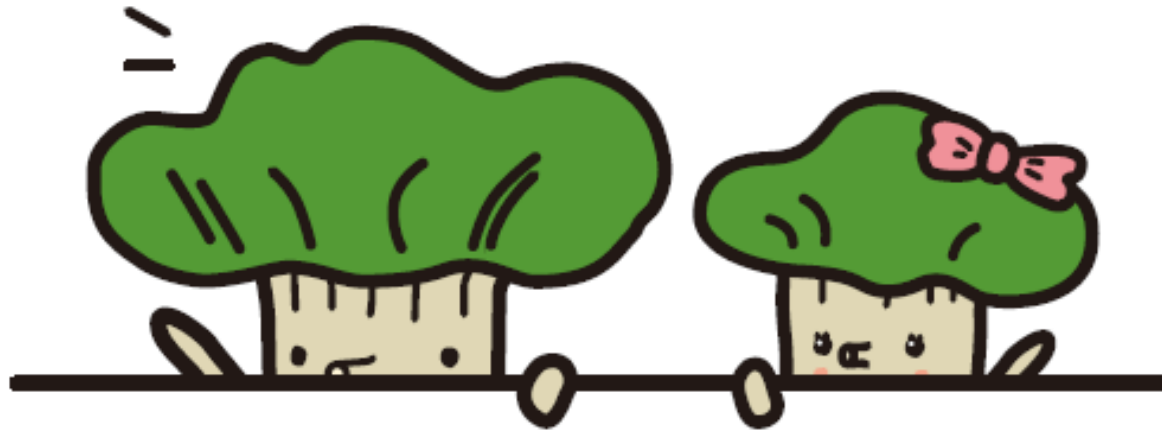


個人投資家向け会社説明会



つなぐを化学する
荒川化学工業株式会社

取締役社長
宇根 高司
2021.12.14

証券コード 4968

本日の内容

1

当社の歴史

2

当社の強みと事業内容

3

第5次中期5カ年経営実行計画について

4

サステナビリティへの取り組み

5

株主・投資家さまとの関わりあい

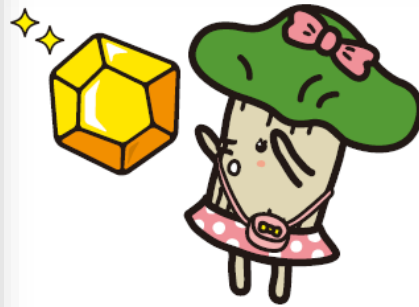
1

当社の歴史

ロジンと歩んで145年

ロジンとは松脂を精製してつくられる樹脂のこと。

松の木にキズをつけると、ネバネバした松脂がにじみ出てきます。



再生可能な天然資源！

明治9年 大阪 道修町で創業

経営理念

個性を伸ばし
技術とサービスで
みんなの夢を実現する



初代社長 荒川正太郎（前列中央）

道修町は
薬のまち！



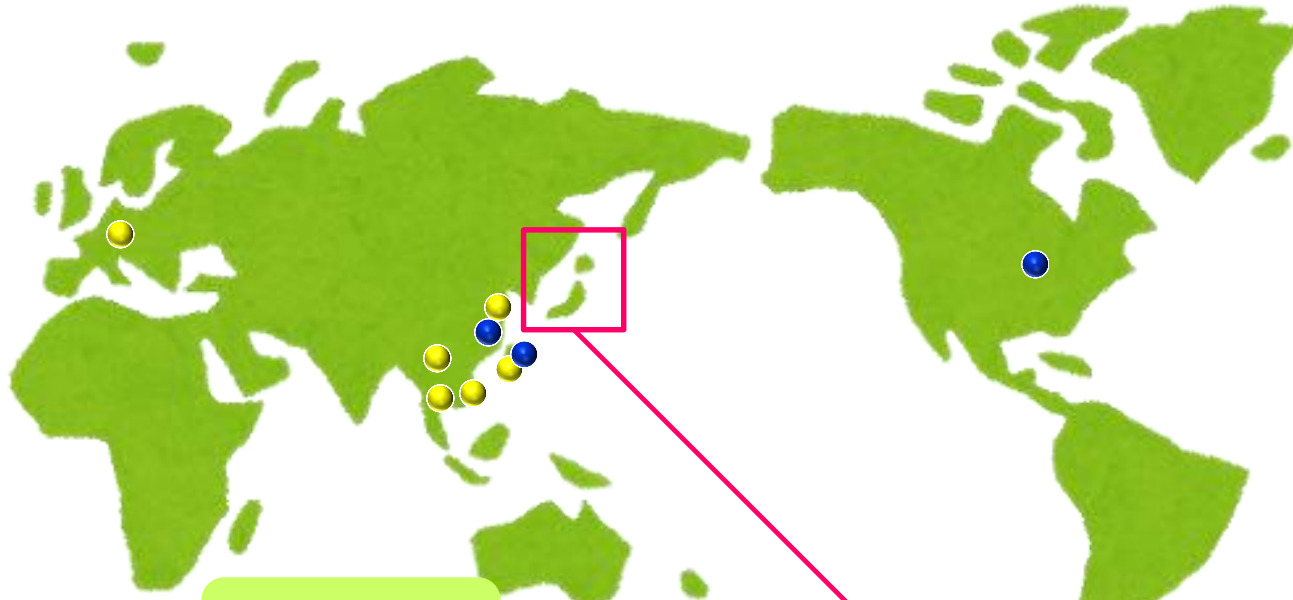
看板（□に玉でカクタマと読む）



当社の歴史VTRをご覧ください。
（約16分）



広がるグローバルネットワーク



国内事業所 製造拠点

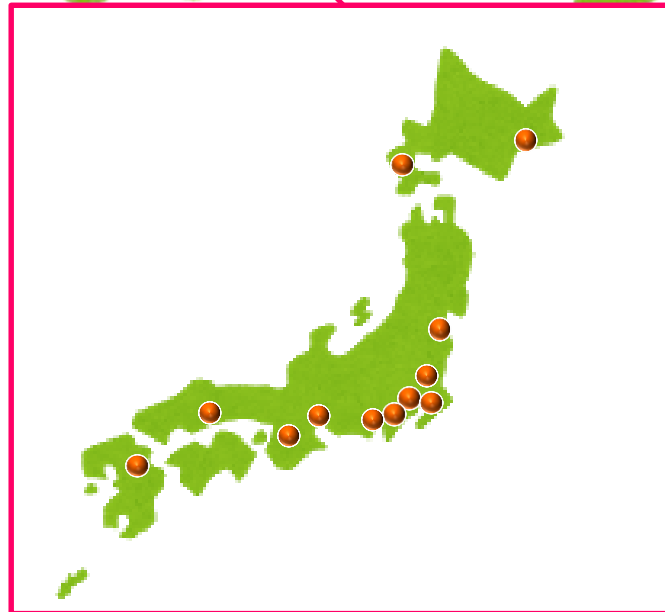
大阪工場
富士工場
水島工場
小名浜工場
釧路工場
鶴崎工場

研究所

研究所（大阪）
筑波研究所

販売拠点

本社
東京支店
名古屋支店
営業所 3



海外事業所

● **製造・販売拠点**
荒川ヨーロッパ（ドイツ）
広西梧州荒川（中国）
南通荒川（中国）
荒川ケミカルタイランド
台湾荒川
荒川ケミカルベトナム社

● 販売拠点

荒川化学合成（上海）
荒川ケミカル（米国）
日華荒川（台湾）
ボミランテクノロジー（台湾）

大阪から世界へ！



国内関係会社

ペルノックス（秦野）
高圧化学工業（大阪）
山口精研工業（名古屋）
千葉アルコン製造（千葉）
カクタマサービス（大阪）

2

当社の強みと事業内容

ココにも！つなぐ技術

私たちの技術は身近なところで使われています。

その特長は、何かと何かを **つなぐ** こと。



つなぐ技術が機能を付与する

印は主にロジン系製品

荒川化学のつなぐ技術

機能性コーティング事業

機能性コーティング剤 表面をまもる

印刷インキ用樹脂  綺麗に鮮やかに

製紙・環境事業

紙力増強剤 丈夫にする

サイズ剤  にじみをふせぐ

粘接着・バイオマス事業

水素化石油樹脂  くっつくチカラを
粘着・接着剤用樹脂など コントロール

合成ゴム重合用乳化剤  乳化させる

ファイン・エレクトロニクス事業

精密部品洗浄など  
低誘電ポリイミド樹脂
ファインケミカル
電子材料用配合製品
精密研磨剤
安全、環境負荷低減

ユーザーの製品

ディスプレイ 

印刷インキ 

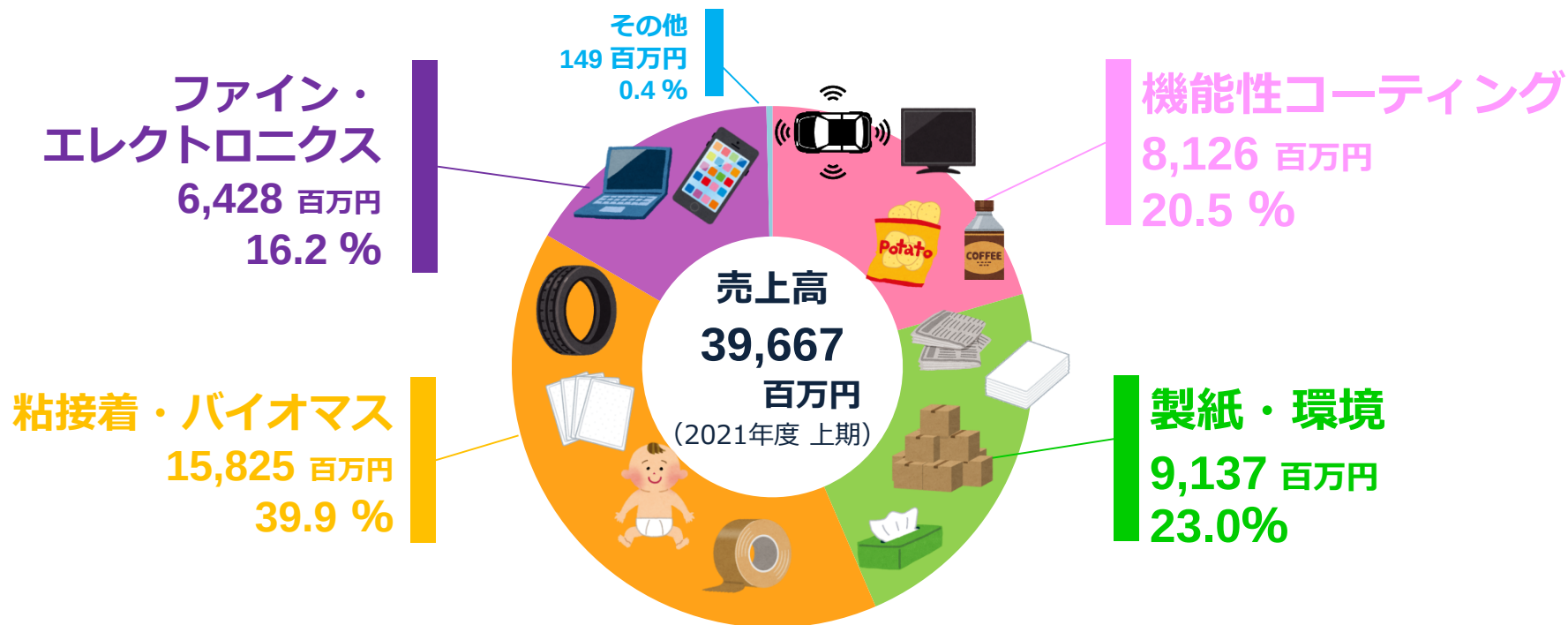

紙 


粘着・接着剤 


タイヤ・ゴム用他

電子材料他 


セグメント別売上高



セグメント	事業内容
機能性コーティング	光硬化型樹脂、熱硬化型樹脂、印刷インキ用・塗料用樹脂 等
製紙・環境	紙力増強剤、サイズ剤、新規水系ポリマー 等
粘接着・バイオマス	水素化石油樹脂、粘着・接着剤用樹脂、超淡色ロジン、合成ゴム重合用乳化剤等
ファイン・エレクトロニクス	精密部品洗浄剤および洗浄装置、低誘電ポリイミド樹脂、ファインケミカル製品、電子材料用配合製品、精密研磨剤 等

荒川化学の独自商品

高い技術力と品質で荒川ブランドを確立し、多様な要望に応える

光硬化型樹脂

- 光で瞬時に固まり、省エネルギー、環境負荷低減
- 5G、自動車関連分野で需要が拡大



紙力増強剤

- 国内で業界トップクラスのシェア
- ネット通販普及による段ボールの需要拡大に追随
- グローバル展開を推進中

水素化石油樹脂

- 世界的な紙オムツの需要拡大に追随
- 千葉に第三拠点を設立し、グローバル展開を強化

超淡色ロジン

- バイオマス素材・オンリーワン製品
- 環境に配慮した鉛フリーはんだ用フラックスの業界標準
- 医療用貼付剤など、ライフサイエンス分野にも進出

低誘電ポリイミド樹脂

- 5Gによる処理データの高速化、大容量化に伴う電気信号の伝送損失を抑制

電池用材料

- EVの普及を支えるリチウムイオン電池用バインダー

光硬化型樹脂

機能性コーティング



: サステナビリティ製品



■ 光で瞬時に固まり、省エネルギー、環境負荷低減（VOC削減）

■ 使用用途

ディスプレイ



スマートフォン



自動車関連



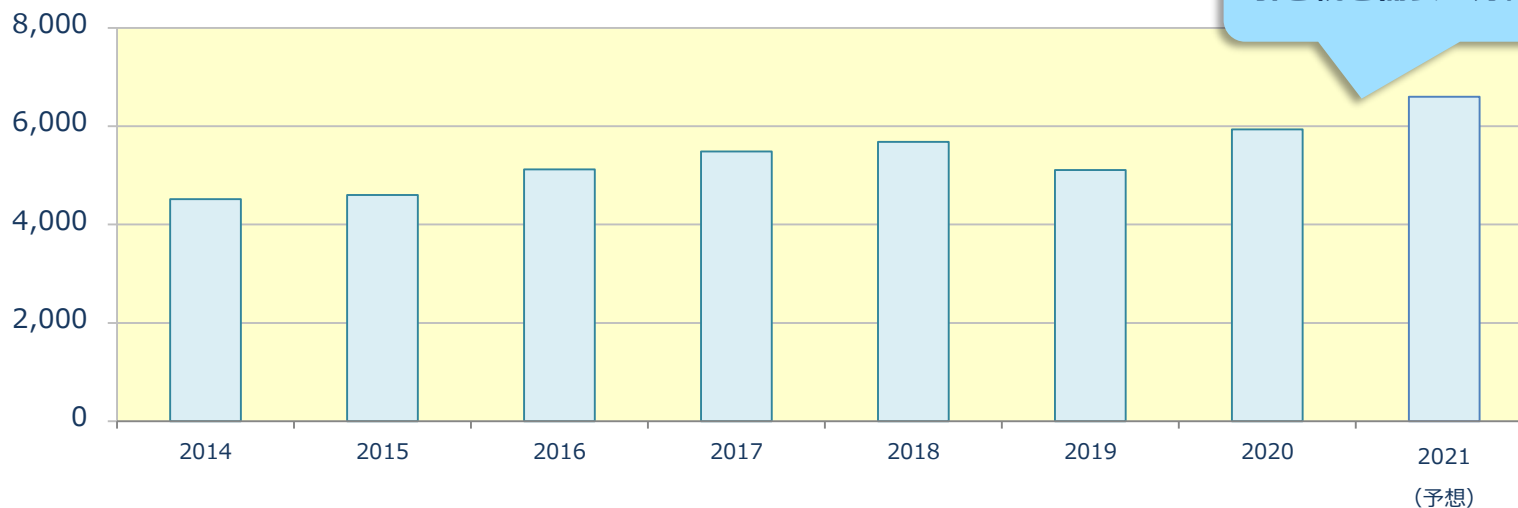
その他・・・

- IC生産工程用
- インデックスマッチング
- 印刷インキ・塗料
- クリアワニス



ビームセット、オプスター（光硬化タイプ）

売上高（百万円）



5G関連と自動車関連分野にて
引き続き需要は好調に推移見込み

紙力増強剤

製紙・環境



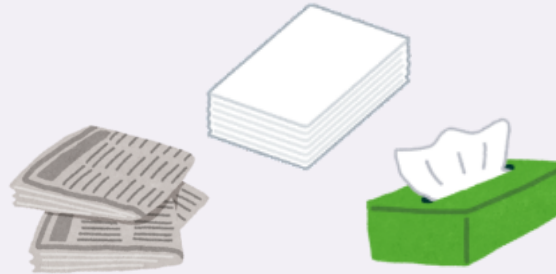
: サステナビリティ製品



- 国内で**業界トップクラス**のシェア
- ネット通販普及による**段ボール**の**需要拡大**
- 使用用途



■ 段ボールの板紙



■ 古紙／洋紙など



完成間近の荒川ケミカルベトナム社

水素化石油樹脂

粘接着・バイオマス

■ 世界で初めて無色・透明な水素化石油樹脂の工業化に成功

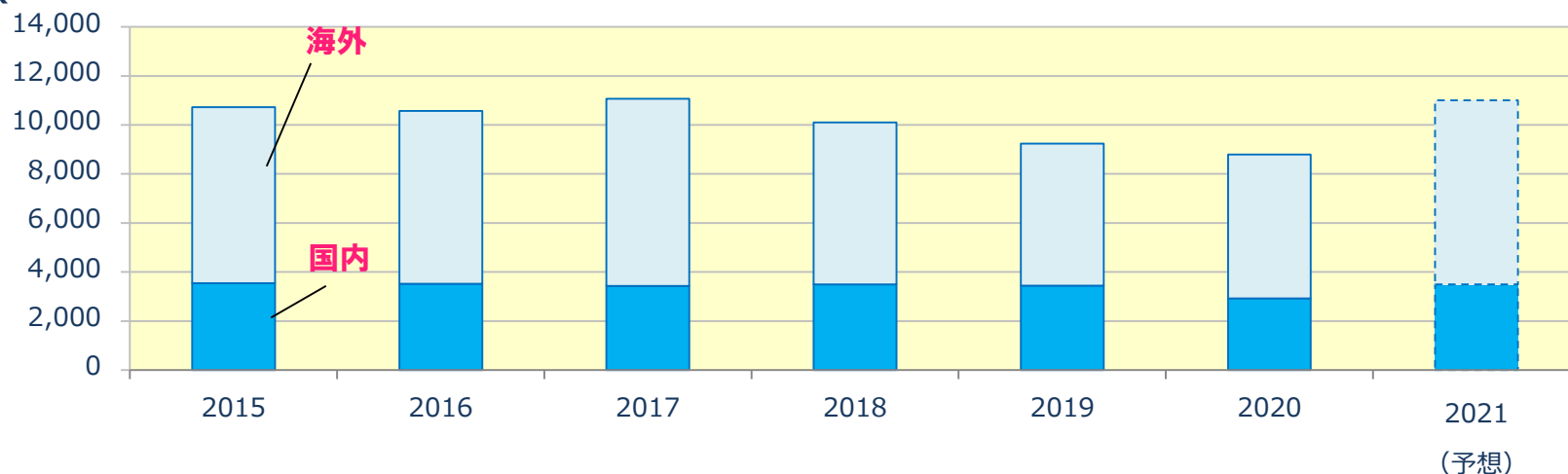
(1965年上市)

■ 紙おむつ用ホットメルト接着剤で伸長

■ 2018年2月に千葉アルコン製造(株)を設立、稼働に向け、最終調整段階

⇒ 原料の効率的・安定的調達、一貫生産によるコスト競争力、インフラ有効活用

売上高
(百万円)



超淡色ロジン

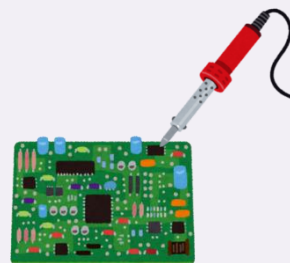
粘接着・バイオマス



: サステナビリティ製品

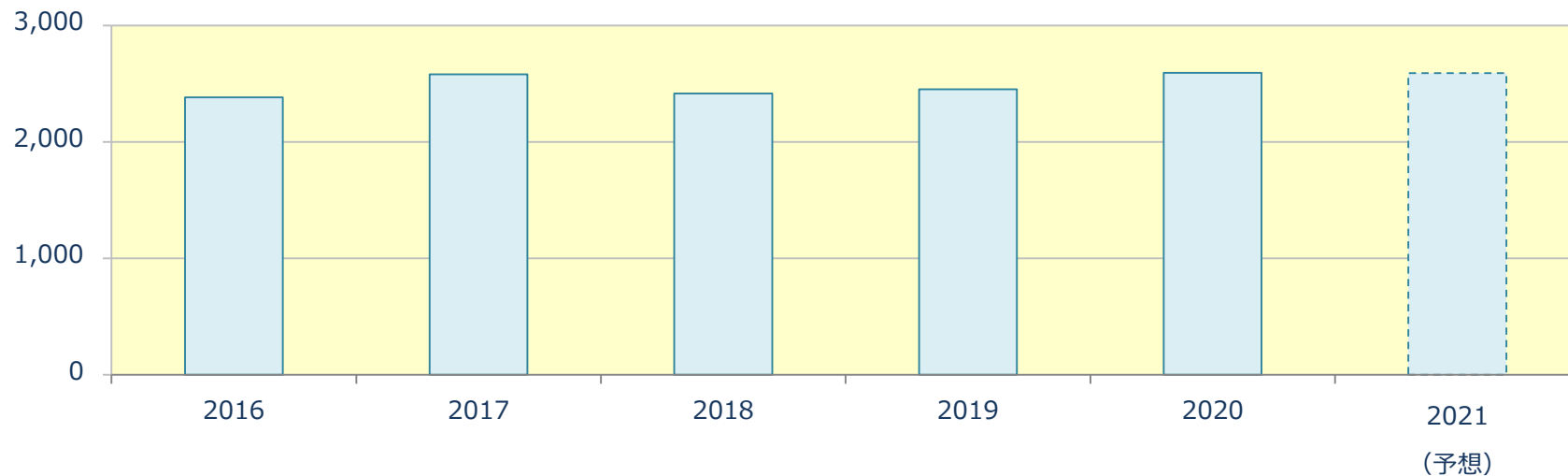


- **バイオマス素材・オンリーワン**製品（琥珀色のロジンを高圧水素化技術により無色化）
- 鉛フリーはんだ用フラックスの**業界標準**
- **ライフサイエンス**分野にも進出
- 使用用途



■ 医療用貼付剤 ■ 3Dプリンター関連部材 ■ 鉛フリーはんだ用フラックス ■ 光学フィルム関連部材

売上高
(百万円)



低誘電ポリイミド樹脂（PIAD）／電池用材料

ファイン・エレクトロニクス

＜低誘電ポリイミド樹脂＞ 🌱 : サステナビリティ製品

■ 独自のポリマー重合技術に優れる高付加価値製品

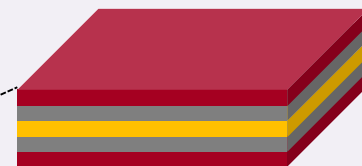
■ 処理データの高速化、大容量化（高周波化）

に伴う電気信号の伝送損失を抑える

5G

■ フレキシブル銅張積層板

(Flexible Copper Clad Laminate, FCCL)



■ ボンディングシート、カバーレイなど

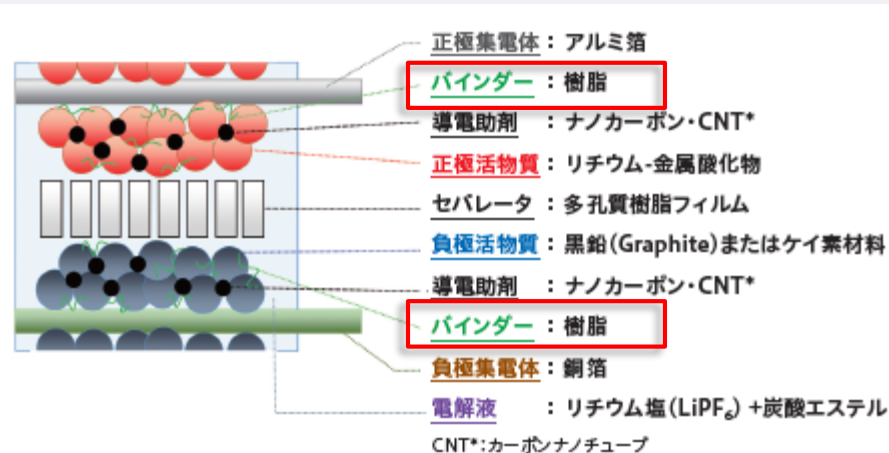
＜電池用材料＞ 🌱 : サステナビリティ製品

■ 水系ポリマー技術を駆使した

リチウムイオン電池用バインダー樹脂

EV

リチウムイオン電池の構成材料例



荒川化学を取り巻く環境

- 成熟した国内市場では、機能性コーティング / 製紙・環境 / 粘接着・バイオマスで業界トップクラスを維持
- 成長する海外市場では、各事業でアジアを中心に事業拡大中

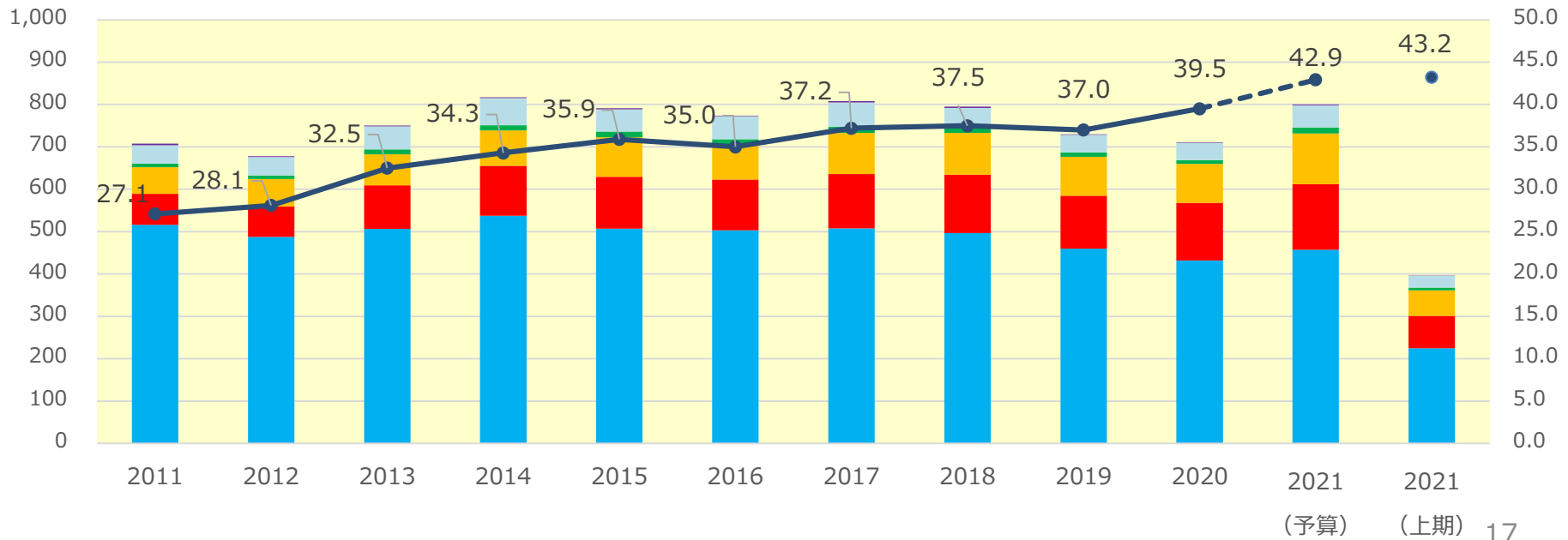
売上高
(億円)

地域別売上高推移

日本 中国 アジア（中国除く） 南北アメリカ ヨーロッパ その他

海外売上高比率

(%)



3

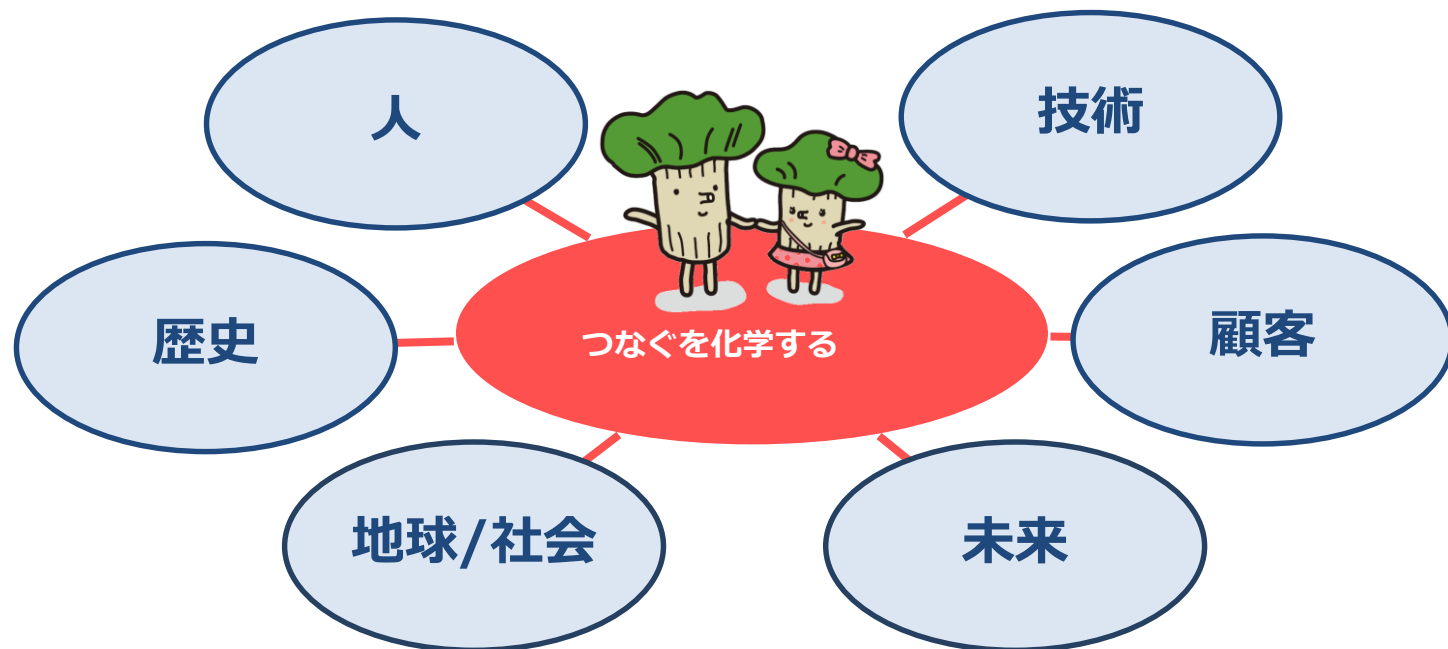
第5次中期5カ年経営実行計画について

2030年のありたい姿

ロジンをはじめとする環境に配慮した素材を活かし、
「つなぐ」技術の深化と新たな付加価値の創造に挑戦し続けることで、
地球環境と社会の持続可能な未来に貢献する

つなぐを化学する

SPECIALITY CHEMICAL PARTNER



スローガン

V-ACTION *for sustainability*

- ・ Vector 方向・進路（サステナビリティ）
- ・ Variety 変化・多様性（中計最終時の姿）
- ・ Vitality 活力（働きがいと生産性の向上）
- ・ Value 価値（企業価値）
- ・ Venture 冒険的事業（みつける）

人と事業の新陳代謝の深化、事業基盤の持続性を確保し、
持続可能な地球環境と社会を実現するための課題に取り組み、
付加価値・新規事業の創出、安全文化の醸成、
および働きがいと生産性の向上を目指す

財務目標

(百万円)

	2020年度 ¹⁾	2023年度 目標 ²⁾	2025年度 目標 ²⁾	5 力年 伸長額 ³⁾	5 力年 伸長率 ³⁾	2030年度 目標
売上高	70,572	84,000	90,000	+19,427	+27.5 %	100,000以上
営業利益	3,257	4,500	6,500	+3,242	+99.6 %	10,000以上
経常利益	3,652	4,500	6,500	+2,847	+78.0 %	10,000以上
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,169	3,250	4,500	+2,330	+107.5 %	-
営業利益率(%)	4.6	5.4	7.2	-	-	約10.0
EBITDA (%)	6,423 9.1	9,800 11.7	11,200 12.4	-	-	-

- 1) 新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値
2) 2023年度と2025年度は新収益認識基準を想定した売上高を記載
3) 新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値基準

(参考) 減価償却費	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
連結減価償却費 (予想)	約4,900 →4,090	約5,800 →5,900	約5,300 →5,400	約5,000 →5,100	約4,700 →4,800
うち千葉アルコン製造(株)	約1,700 →890	約2,300 →2,400	約1,800 →1,900	約1,500 →1,600	約1,200 →1,300

赤字は修正値

財務目標（セグメント別）

（百万円）

		2020年度 実績 ¹⁾	2023年 目標 ²⁾	2025年度 目標 ²⁾	5カ年 伸長率 ³⁾
機能性コーティング事業	売上高	15,147	19,000	20,000	+32.0 %
	セグメント利益	1,114	1,800	2,100	+88.4 %
製紙・環境事業	売上高	17,104	19,000	20,000	+16.9 %
	セグメント利益	565	900	1,250	+121.0 %
粘接着・バイオマス事業	売上高	25,804	30,500	31,000	+20.1 %
	セグメント利益	1,554	1,200	2,100	+35.1 %
ファイン・エレクトロニクス事業	売上高	12,252	15,000	18,000	+46.9 %
	セグメント利益	528	1,150	1,800	+240.8 %
みつける	売上高	-	200	600	-
	セグメント利益	-	80	280	-
合計	売上高	70,309	84,000	90,000	+28.0 %
	セグメント利益	3,763	5,150	7,550	+100.6 %
	新規開発投資	△377	△650	△850	—
	新規開発投資差引後利益	3,385	4,500	6,700	+97.9 %

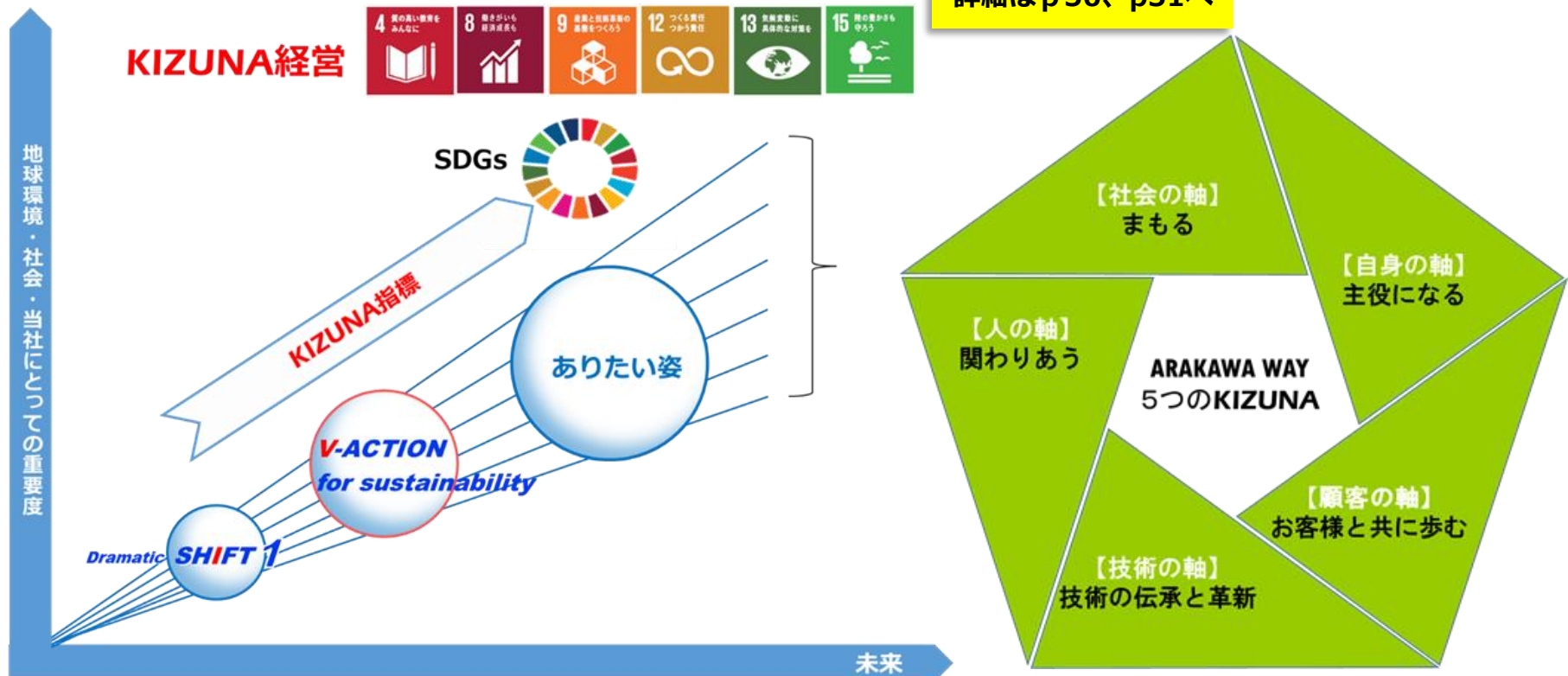
- 1) 新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値
 2) 2025年度と2025年度は新収益認識基準を想定した売上高を記載
 3) 新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値基準

基本方針

KIZUNA経営の推進とKIZUNA指標の達成

KIZUNA指標：5つのKIZUNA とリンクした優先的な重要課題から設定した指標
「ありたい姿」を実現するための指標

詳細は p 50、p51へ



KIZUNA経営



① サステナビリティ委員会 新設

- ・ 重要課題や関連目標の設定や見直し、進捗状況のモニタリング・評価
- ・ 事業ポートフォリオの見直しや中長期的な経営計画、方向性を決定

② KIZUNA推進室 新設

- ・ 個人と会社がともに成長できる体制や施策を立案
- ・ 5つのKIZUNA共有活動や働きがい改革などを通じて、企業風土の改革を目指す

③ 事業戦略部 新設

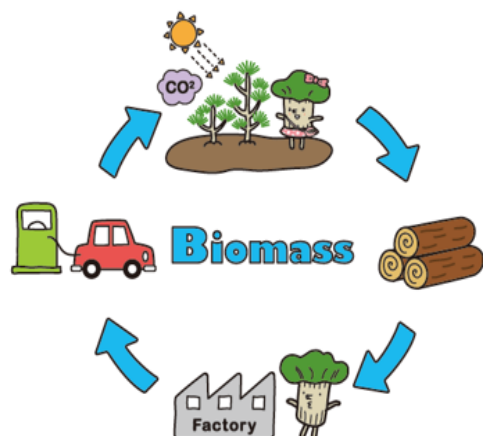
- ・ グローバル事業戦略の立案・推進・評価・見直し
- ・ 事業の付加価値を高め、持続可能な成長の実現を目指す

4

サステイナビリティへの取り組み

サステナビリティへの取り組み

- サステナビリティ委員会が中心となり、ESG、SDGs、Society5.0、気候変動などの環境問題や、ダイバーシティ & インクルージョンなどを含む社会的課題に対応すべく、様々な事項に取り組んでいく



サプライチェーンの持続性確保

- ・カーボンニュートラル
- ・VOCの低減
- ・植林活動

持続的な価値創出を実現

炭素循環社会の実現

- ・自動車のEV化や軽量化
- ・スマート農業の促進

個々の能力を最大限発揮

- ・キャリア形成支援
- ・ワークライフバランスの最適化
- ・業務プロセス改革

NIKKEI
SDGs
経営調査 2021 ★★★★★
★0.5ランクUP



KIZUNA指標

- 2050年CO₂排出量実質ゼロに向けた取り組み
2025年CO₂排出量：**30%削減** 2030年CO₂排出量：**50%削減** (2015年比)

ESGの取り組み

荒川化学グループは経営理念のもと、化学メーカーとして安全・環境配慮を重視した経営を実践し、社会から認められ続ける会社を目指し、145年を歩んでまいりました。

この考えは、国連の2030年目標であるSDGs（貧困、エネルギー、気候変動等の世界の課題に対し17の開発目標を示したもの）にも通じるものです。

当社は**ESG（環境・社会・企業統治）経営**を通し、**SDGs**にも関連付けながら、さらに社会に貢献してまいります。



環境保全や技術開発による取り組み

開発目標

荒川化学が提供する価値



強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

暮らしの利便性、快適性を高める製品を提供し続けるための
技術開発



* 海洋生分解性バイオマスプラスチック
開発プラットフォームへ参画



持続可能な生産消費形態を確保する

具体的な目標を掲げた製品ライフサイクルにおける
化学物質の適正管理、産業廃棄物処理活動



気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

具体的な目標数値を掲げた温室効果ガス削減活動  OZCaF
OSAKAゼロカーボンファウンデーション

- ・「OSAKAゼロカーボンファウンデーション」に参画
- ・カーボンニュートラルな都市ガスの導入
（大阪工場、グループ会社の高圧化学工業株式会社）

新事業への取り組み

開発目標

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

17 パートナシップで目標を達成しよう



持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化

荒川化学の取り組み

新規事業・新規テーマに関する

「社内テーマ提案・チャレンジャー育成」を開始

2021年上期は21件のテーマ提案

熱意

成長

提案

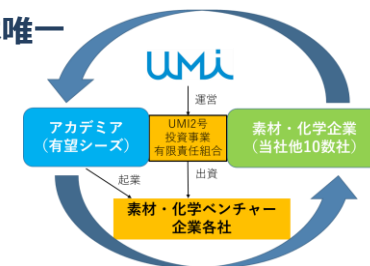


ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター社

（UMI）が運営するベンチャーファンドである

UMI2号投資事業有限組合への投資

⇒素材・化学産業に特化した日本唯一のファンド



次代へつなぐ取り組み

開発目標

4 質の高い教育を
みんなに



すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

8 働きがいも
経済成長も



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



15 陸の豊かさも
守ろう



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

荒川化学が提供する価値

「楽しく化学する」を基本に小学生対象の体験学習の実施、若手、中堅社員の海外研修制度、先進国およびその他の開発途上国における高等教育の奨学金制度

- ・国内社員を対象にSDGs eラーニングを実施
- ・子ども向け化学啓発サイト「うちラボ」に協賛
- ・「第53回国際化学オリンピック日本大会2021」に協賛



イキイキ・ワクワクと働ける環境整備の推進と充実化

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

- ⇒KIZUNA推進室始動 (D&I推進担当専任、メンバー公募)
- ・D&I経営勉強会、対話による心の開示訓練

安全文化の醸成活動促進

- ・保安力向上センターによる保安力評価準備 (富士工場、大阪工場)
- ・体感型学習 小名浜保安道場
- ・荒川安全伝承館の設置 (11月完成)
- ・令和3年度「優良危険物関係事業所 消防庁長官表彰」を受賞



釧路工場、鶴崎工場、グループ会社の高圧化学工業株式会社

地域の松林復元に寄与する

「マッタロウの森」プロジェクト他の植林活動

＊11月：在阪社員参加による植栽活動を1年ぶりに再開

経営理念の共有と実践（※KIZUNA活動）

- 2021年度よりサステナビリティ委員会、KIZUNA推進室を新設
- KIZUNA活動の継続により、根幹の揺らぐことのない経営を実践する
- リスク管理や内部統制制度、コンプライアンス、コーポレートガバナンス・コードへの取組みを徹底し、中長期的な収益性・生産性を高め、好循環につなげることで企業価値の向上と社会貢献に努める

※KIZUNAは、“ARAKAWA WAY 5つのKIZUNA”の略称であり、当社グループの大切にしている価値観・行動指針を明文化したもの

D&Iの阻害要因となるアンコンシャスバイアスなど理解促進に努める



価値観・行動指針



D&I経営勉強会

サステナビリティ・リンク・ボンド（SLB）の発行

日本の化学業界では**初**(世界の化学業界7例目、国内10例目)となるSLB発行

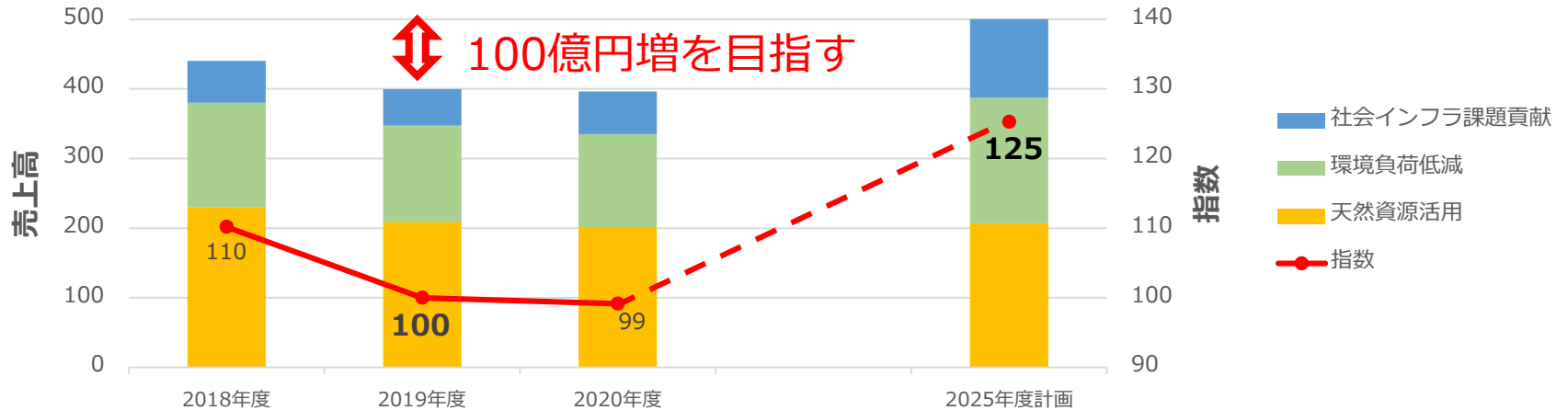
社債の名称	荒川化学工業株式会社第5回無担保社債 (別称：荒川化学 マツタロウ サステナビリティ・リンク・ボンド)
年限・発行額	5年・50億円
利率	年0.180%
取得格付	A－（株式会社日本格付研究所）
SPTs*	SPT1：2025年度のCO ₂ 排出量を2015年度比30%削減 SPT2：2025年度のサステナビリティ製品の連結売上高指数を 2019年度比25%以上アップ



*SPTs＝サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットの略

SPT2の内容について

2025年度のサステナビリティ製品の連結売上高指数を2019年度比25%以上アップ



カテゴリー	サステナビリティ製品 (代表的製品)	社会的便益	貢献するSDGs
社会インフラ 課題貢献	光硬化型樹脂、 低誘電ポリイミド樹脂 電池用材料など	5Gなど情報通信速度・量の質的改善、 EV普及への貢献	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を
環境負荷低減	紙力増強剤 湿潤紙力増強剤 水系インキ・塗料用樹脂 剥離紙用コーティング剤 精密部品洗浄剤など	古紙リサイクルの普及促進などバリュー チェーンを通じた環境配慮（労働環境改 善・大気汚染の防止を含む）への貢献	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 12 つくる責任 つかう責任
天然資源活用	ロジン誘導体 超淡色ロジン 水系粘着・接着剤用樹脂 サイズ剤 ロジン系印刷インキ用樹脂 合成ゴム重合用乳化剤など	天然資源活用による 炭素循環社会への貢献	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 12 つくる責任 つかう責任

5

株主・投資家さまとの関わりあい

株主総会・IR活動

株主・投資家さまと向き合える機会を設け、満足度や認知度の向上、信頼関係の構築を目指しています。



株主総会



個人投資家説明会

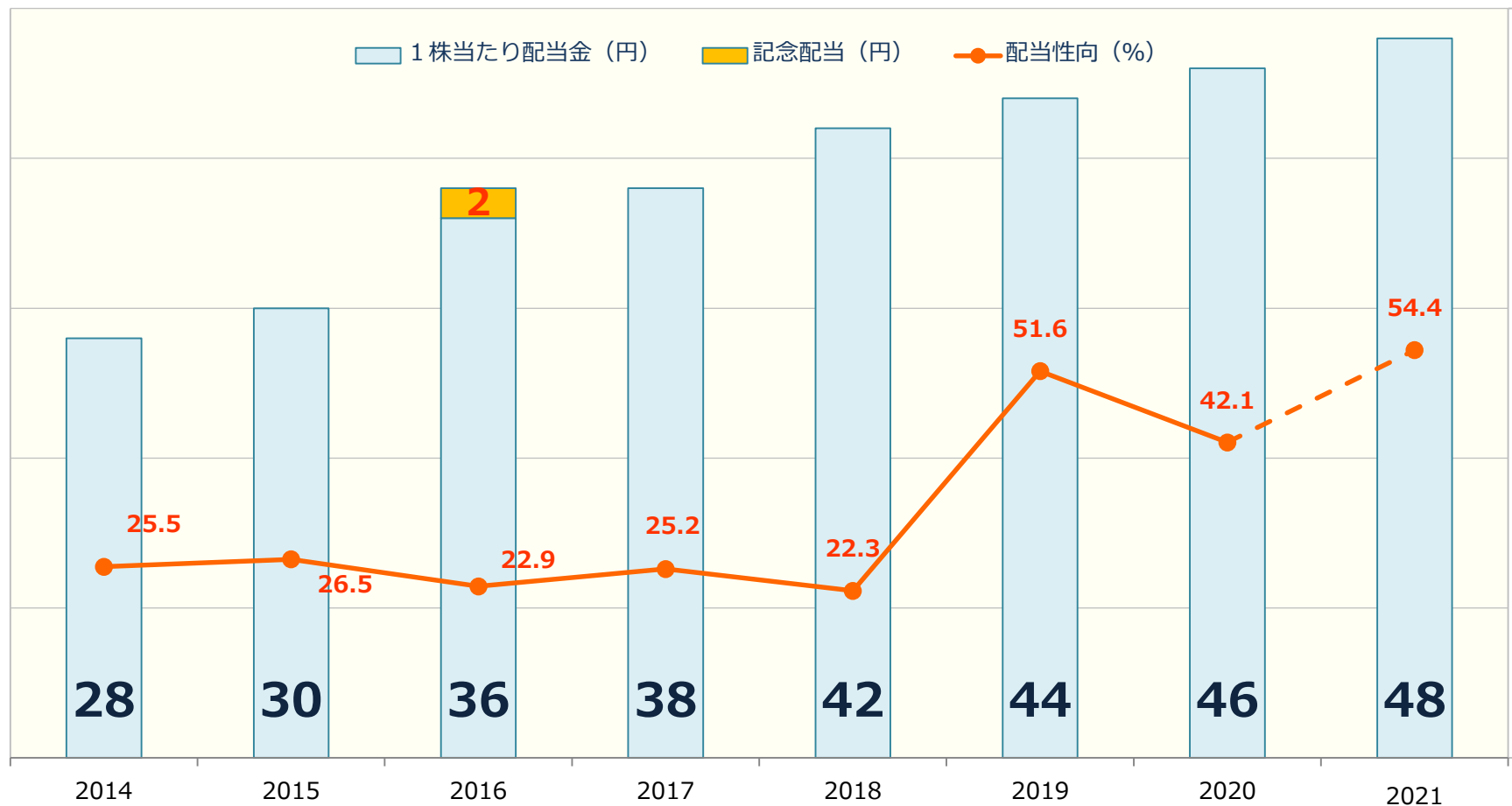
項目	活動内容
株主総会	毎年6月本社を置く大阪で開催
決算説明会	年2回（6、12月）、東京支店で開催
機関投資家との対話	個別ミーティングを実施
個人投資家説明会	年に数回開催



2019年の個人投資家説明会
は水島工場とゆかりのある
岡山県で開催

株主還元策・配当金の推移

- 2021年4月よりスタートしている第5次中期5カ年経営実行計画においては、成長戦略の実現による利益の拡大を通じた配当額の増額と配当性向 **40%** を目標として取り組んでいく



(予想)

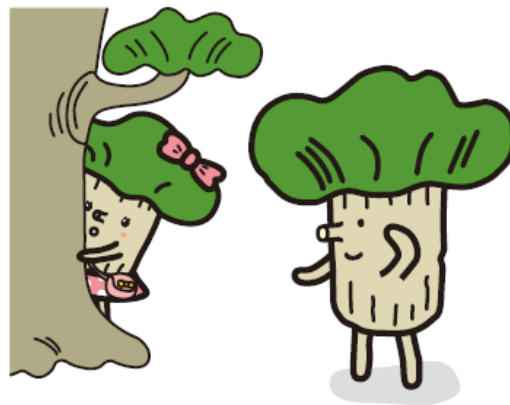
株価推移



見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

荒川化学工業株式会社



參考資料



会社概要

■ 2021年3月末現在

商 号	荒川化学工業株式会社
所 在 地	大阪府中央区平野町1丁目3番7号
代 表 者	取締役社長 宇根 高司
創 業	明治9年（1876年）
会 社 設 立	昭和6年（1931年）
資 本 金	33億43百万円
従 業 員 数	1,593名（連結）
主 要 取 引 先 （五十音順）	・ 王子ホールディングス ・ 関西ペイント ・ JSR ・ 東洋インキSCホールディングス ・ 日東電工



1926年（大正15年）商標登録

当時としてはモダンなアルファベット表記

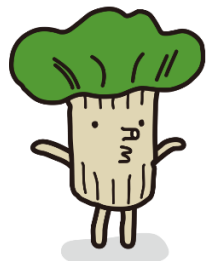
沿革

1876年	(明治9年)	大阪で生薬商として創業
1914年	(大正3年)	鳴野工場を開設し、ロジンの製造開始
1928年	(昭和3年)	ロジン系塗料用樹脂の製造開始
1937年	(昭和12年)	ロジン系印刷インキ用樹脂の製造開始
1954年	(昭和29年)	製紙用薬品（サイズ剤）の製造開始
1967年	(昭和42年)	台湾に天立化学（現 台湾荒川化学）を設立
1977年	(昭和52年)	荒川林産化学工業(株)から荒川化学工業(株)に改称
1995年	(平成7年)	中国に梧州荒川化学を設立
1999年	(平成11年)	大証第二部に株式上場
2003年	(平成15年)	東証・大証第一部に株式上場 日本ペルノックス（株）（現 ペルノックス（株））が当社グループに加入
2004年	(平成16年)	中国に南通荒川化学、広西荒川化学を設立
2008年	(平成20年)	中国に広西梧州荒川化学を設立
2010年	(平成22年)	ダウ・ケミカル社のドイツの「アルコン」事業を取得
2011年	(平成23年)	中国に荒川化学合成（上海）有限公司を設立
2012年	(平成24年)	台湾に柏彌蘭科技股份有限公司（ポミラン・テクノロジー社）を設立
2014年	(平成26年)	台湾に日華荒川化学股份有限公司を設立
2015年	(平成27年)	山口精研工業（株）（名古屋）が当社グループに加入
2018年	(平成30年)	千葉アルコン製造（株）を設立 荒川化学合成（上海）有限公司 東莞分公司を開設
2019年	(令和元年)	荒川ケミカルベトナム社を設立

株式情報

証券コード	4968
決算期	3月
上場取引所	東証1部
単元株	100 株
株価	1,200 円 (2021年12月9日 15:00時点)
最低所要金額	120,000 円
配当利回り	4.00 %
P E R	13.60 倍
P B R	0.40 倍
発行済株数	20,652,400 株 (2021年3月末現在)
長期発行体格付	A - : 安定的 (J C R)
自己株式取得	413,900 株 (2019年12月3日時点)

マツタロウとロジーナのご紹介



マツタロウ

- 種類 松の妖精
- 種類 たぶん、男の子
- 種類 不明、でも子ども
- 趣味 たんけん、かくれんぼ
- 趣味 わんぱくで元気。よく、おとぼける

普段は松林に住んでいるけど、松からとれるロジンが、姿を変えて街の中のいろんなところにあると知ってびっくり。こんなところにも役立っていたなんて！と発見が多くて、街で遊ぶことがますます楽しくなってきました。かくれんぼが好きだから、あなたの近くにも隠れているかもしれませんよ。

夢

1. 世界中を冒険しながら、世界中の松林でロジーナとかくれんぼすること。
2. 「マツタロウの森」を育て、大きくなった松林でみんなで遊ぶこと。

家で読書するのが趣味だけど、マツタロウにくっついていくと楽しくて、いろんな場所に行くうちに、いろんなことにワクワク、興味がいっぱい！ポシェットには街でみつけた宝もののほかに、チューイングガムとロジンのかけらを詰め込んでいます。今日もマツタロウとどこで何を発見するのか？

夢

1. 化学か歴史の先生になること。
2. 「マツタロウの森」の松から、キラキラロジンを発明すること。

- 種類 松の妖精
- 種類 たぶん、女の子
- 種類 不明、でもマツタロウの妹らしい
- 趣味 お菓子づくり、読書
- 趣味 しっかりもので勉強家。でも、ちょっと恥ずかしがり屋

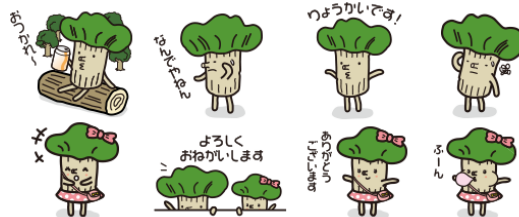


ロジーナ

マツタロウ&ロジーナ

LINEスタンプ
販売中

LINE STOREへ



CM公開中！

CM「粘着テープ」編と「インキのにじみ止め」編をホームページで公開中です。
スマートフォンなどで添付のQRコードを読み取っていただくと、直接CMコーナーに
アクセスできます。動くマツタロウとロジーナをお楽しみください！



QRコード



QRコードを読み取るには、読み取り機能のある携帯電話か、スマートフォンをご利用ください。スマートフォンの場合は、専用のアプリをダウンロードする必要があります。



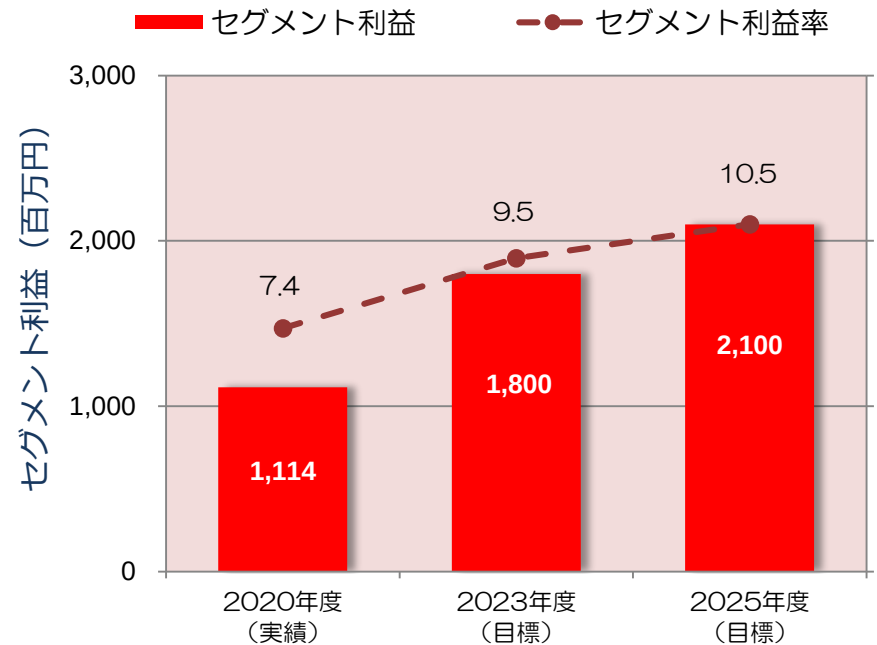
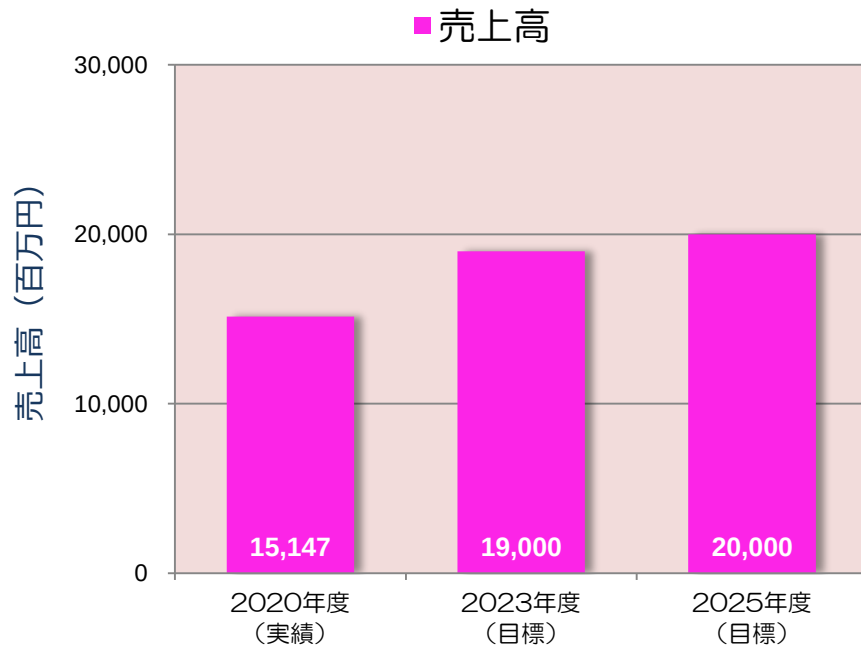
第5次中期5カ年経営実行計画について (補足資料)



機能性コーティング事業

高収益・注力

- 機能性コーティング剤の強固な事業基盤構築によるさらなる拡大
- 印刷インキ用樹脂や塗料用樹脂は、採算性の向上を推し進めるとともに、コア技術を活かした新規テーマの創出に注力

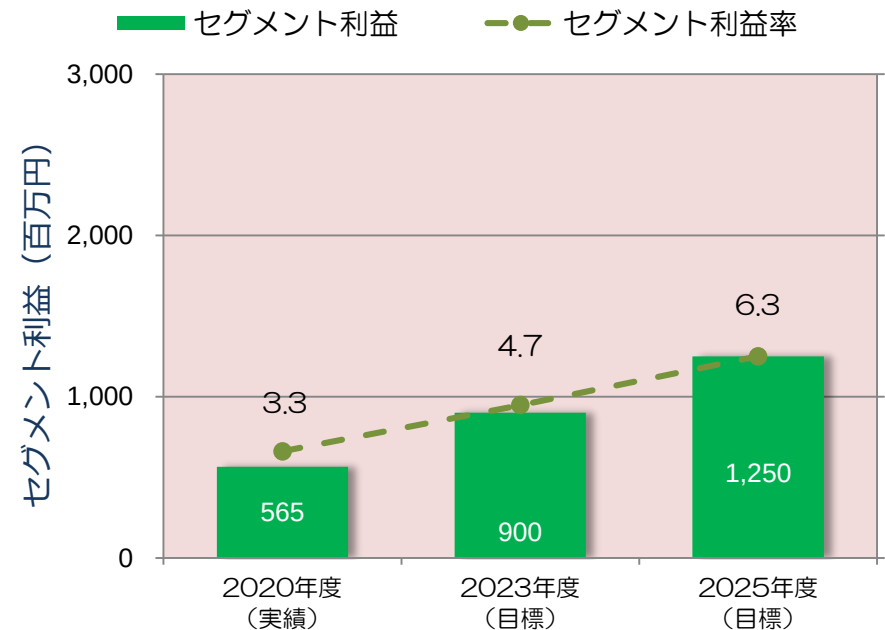
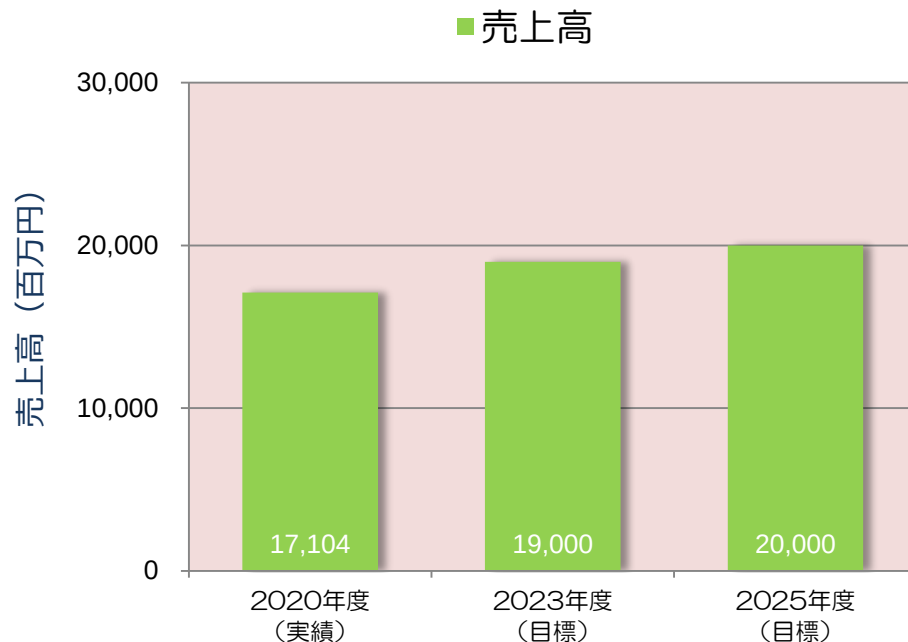


製紙・環境事業

ASEAN拡大

■ 推進中の海外事業の拡大戦略を加速するとともに、国内事業は採算性の向上を強力に推し進め、コア技術を活かした新規テーマの創出に注力

- ・ ASEANを中心としたアジア地域での紙力増強剤の拡大
- ・ テーマの選択と集中、生産体制の最適化による国内事業の採算性向上
- ・ 水系ポリマーを活用した地球環境と社会へ貢献できる新規テーマの創出

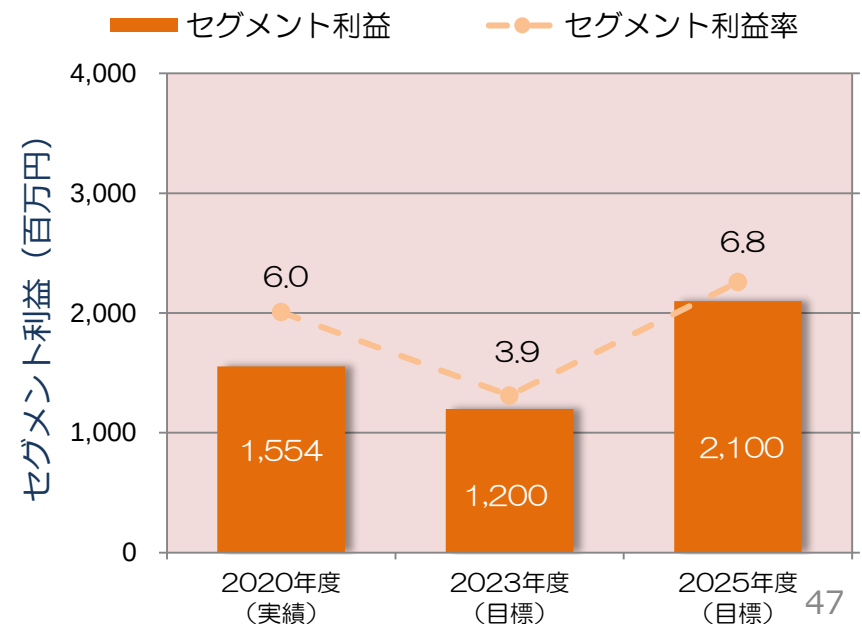
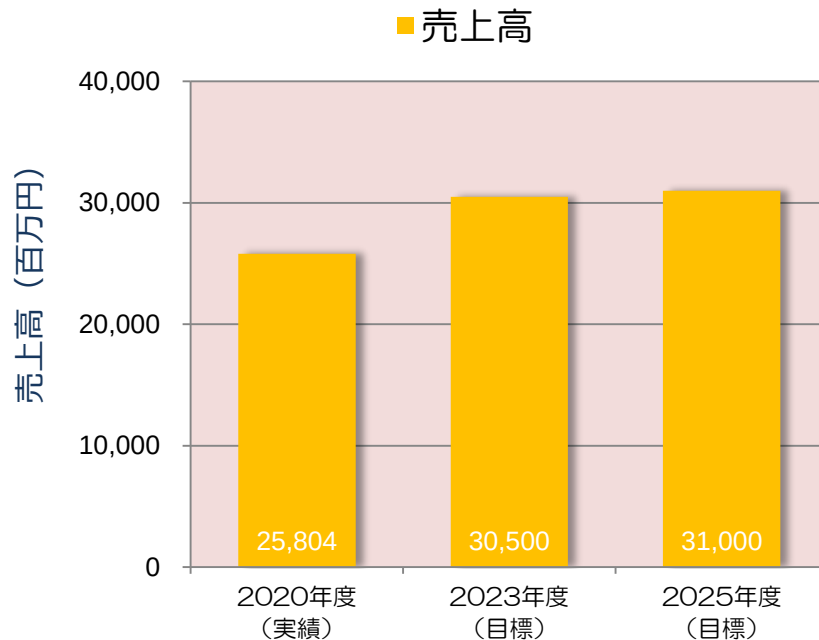


粘接着・バイオマス事業

グローバル基盤・展開

- 「ロジンの荒川」から「Global Pine Chemicals Partner」への深化を目指し、松脂資源と関連事業の持続性を確保
- 水素化石油樹脂「ARKON」はアジア唯一のグローバルサプライヤーとして名実ともにグローバルでのブランド力を維持・強化

- ・ バイオマス素材としての利点を活かしたロジン誘導体事業の拡大と持続性確保
- ・ 「ARKON」3拠点体制（水島、千葉、ドイツ）の特長を活かした供給体制構築と拡販

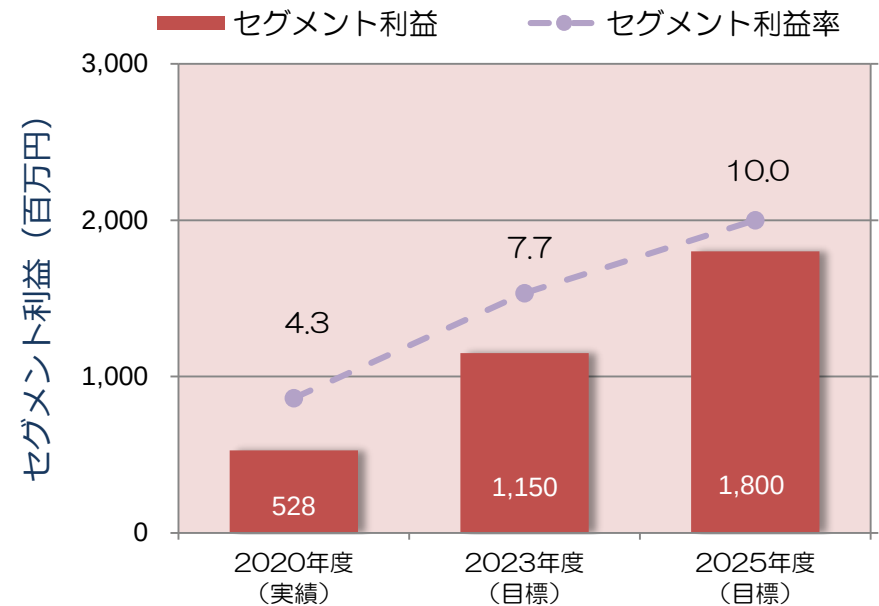
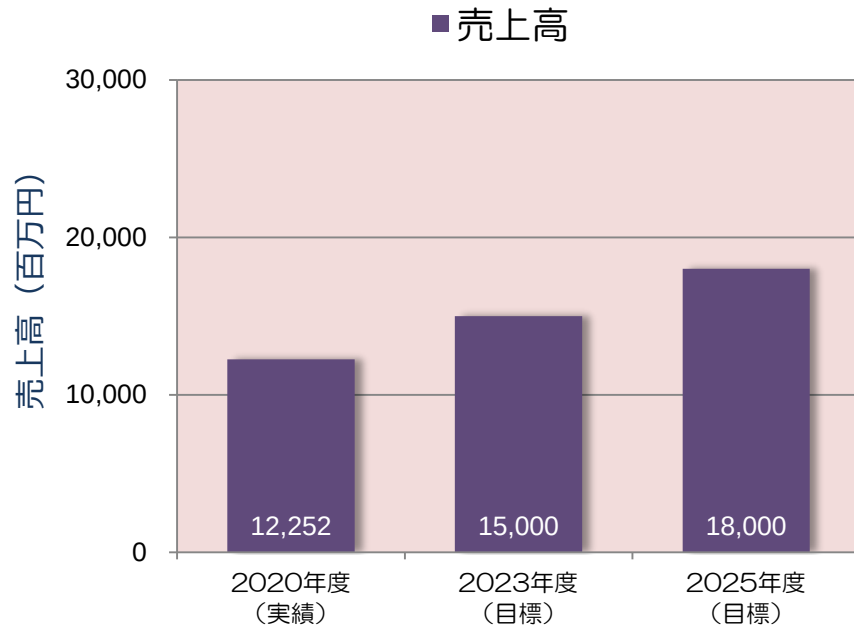


ファイン・エレクトロニクス事業

拡大・新規投資

■ 高速通信の大容量化、自動車電動化をメインターゲットとして、市場ニーズに合わせて関係会社を含む関連事業間で素早く連携できる仕組みを確立

- ・ 海外の半導体用途および非フラックス洗浄用途での洗浄剤「パインアルファ」の拡大
- ・ 5Gスマートフォン用高周波FPC市場での「PIAD」の拡大
- ・ 先端材料分野での拡販と新規テーマの獲得による「ファインケミカル製品」の拡大
- ・ センサー市場を中心とした伸長分野での「電子材料用配合製品」の拡大
- ・ HDD、SAWデバイス市場での「精密研磨剤」のさらなる拡大

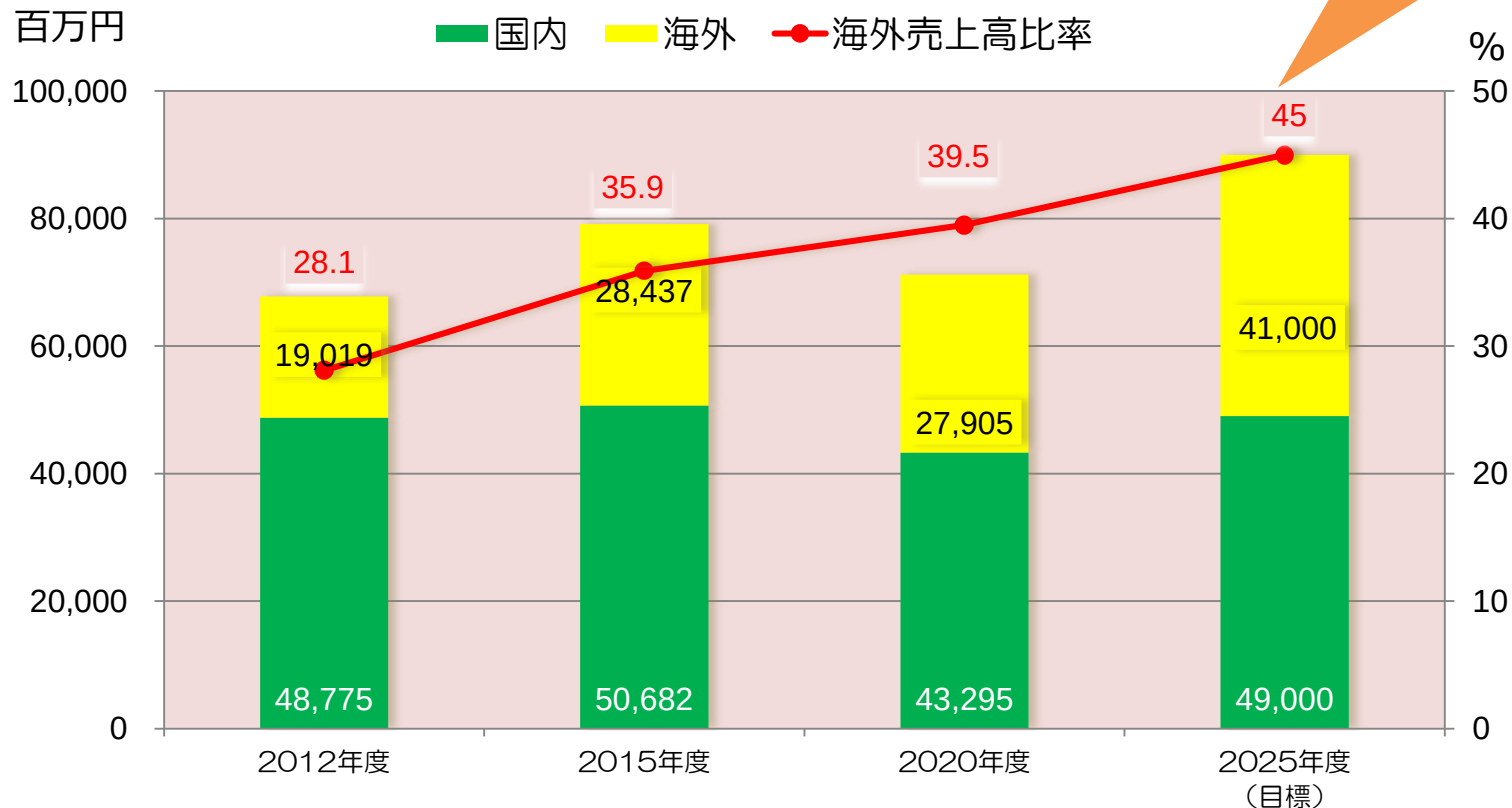


海外売上高伸長率

さらなるグローバル化を推進し、
2020年度比海外売上高伸長率50%以上を目指す

新拠点 約75億円

- ・千葉アルコン製造
- ・荒川ケミカルベトナム社



KIZUNA指標

5つのKIZUNA	優先的な重要課題	K I Z U N A 指標	目標 ^{*8}	
			2025年度	2030年度
【社会の軸】 まもる	安全文化の醸成	災害・事故ゼロ継続（死亡・休業災害等）および第三者機関による保安力評価、安全レベルの継続的向上	災害・事故ゼロ継続（死亡・休業災害等）安全レベルの継続的向上（評価4）	
	環境保全の強化	CO ₂ 排出量の削減	2015年度比30%削減	2015年度比50%削減
		マツタロウの森の植林活動およびCO ₂ 吸収量評価実施	2026年度までに約1万本の植林を実施 CO ₂ 吸収量10トン/年以上	
	ガバナンスの強化	サステナビリティ委員会の設置と運用	持続可能な経営および企業価値向上に向けた取り組み実施（KIZUNA指標の達成）	
		重大な不正やコンプライアンス違反発生ゼロを継続	0件継続	
【人の軸】 関わりあう	事業のグローバル化推進	海外駐在員の邦人指数 ^{*1}	2019年度比15%ダウン	2019年度比30%ダウン
		海外売上高伸長率	2019年度比50%アップ	2019年度比85%アップ
		バイオマス度換算販売量指数 ^{*2}	2019年度比7%アップ	2019年度比15%アップ
【自身の軸】 主役になる	ダイバーシティ& インクルージョン推進 働きがい改革	付加価値労働生産性 ^{*3}	2019年度比25%アップ	2019年度比35%アップ
		従業員満足度調査（働きがいアンケート）	イキイキタイプ 50%以上	イキイキタイプ 60%以上
		過去3年のメンタルヘルスによる休業者の復職率	80%以上	100%
		社会貢献活動の実施 ^{*4}	地域清掃や献血などの継続と新たな貢献活動の実施	
		ミッションをSHIFTした数	8件以上/5年	10件以上/5年

*1 2019年度の海外関係会社あたりの平均邦人人数を100としたときの指数

*2 粘接着・バイオマス事業の主要製品のバイオマス度×販売量を当社基準に基づき指数化

*3 当社基準の付加価値額を設定して算出、目標値は策定時点での見なしの労働時間、従業員人数を除いて算出

*4 新たな取り組みを実施した年度は5ポイント加算する。

KIZUNA指標

5つのKIZUNA	優先的な重要課題	K I Z U N A 指標	目標*8	
			2025年度	2030年度
【技術の軸】 技術の伝承と革新	N E X T 事業の創出	「そだてる」ミッション移行テーマ件数	5件/5年	5件/5年、1事業化*7
	マーケティング力・研究開発力の強化	サスティナビリティ製品の連結売上高指数*5	2019年度比25%以上アップ	
	生産体制再構築	モノ、ヒト、機器など各種施策の実施	品種統合、O E M、I o Tの導入など各種施策の実施	
【顧客の軸】 お客様と共に歩む	健全な財務基盤	営業利益率	7%以上	10%以上
		ROE	7%以上	8%以上
	持続可能な調達と供給	持続可能な調達率（金額ベース）*6	70%	70%以上維持
		調達先監査件数	50件	50件以上維持
	品質マネジメントの強化	品質クレーム件数削減率	2019年度比50%削減	発生率最小化に向けた強化施策の推進

*5 従来の環境配慮型製品の売上高の対象範囲・基準を見直し、サスティナビリティに貢献している製品として当社内で認定した製品の連結売上高で、2019年度を100として算出

*6 非ロジン系原料（石油系原料）を対象とし原料背景を踏まえた当社基準で算出

*7 第5次中計中に「そだてる」ミッションへ変更し、売上高10億円以上または事業利益1億円以上を達成した新規事業

*8 目標値は見直す可能性がある。





